

定期報告

2011年5月5日

天候;朝は霧、曇り

温度;19度

湿度;48%

風;微風

放射線量;0.11 μ Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝;パン、スパム、サラダ

昼;パスタ

夜;カレーライス

氏名;原田生知(薬剤師)

体調;良好

行動日誌

6時20分起床

7時00分朝食。今朝はユニット毎の準備であったが、大城チーム、八木夫妻とともに同じ食卓で和気あいあいと美味しい食事となった。

8時00分 散歩を兼ねてチームミーティング。丘の上にある大槌高校から徒歩1-2分も歩くとすぐ津波被災地である。家々の壁にはスプレーで「解体可」が横殴りの字で大きく書かれ、至る所に流されてきた車や船が散乱している。その間を大槌高校生が登校のため一人、二人と歩いている。大槌高校生は皆元気よく(本当に一人の例外なく)「おはようございます!」と気持ちの良いあいさつをしてくれる。被災して大変な状況だと思うが、災害ボランティアスタッフに対する心遣いに頭が下がる。本日は工藤課長に大槌町内医療機関の状況視察をしてもらい、薬剤師2名は診療所業務することを確認。八木医師も合流し、被災状況を見ながら意見交換。

8時45分 診療所内カンファレンス。医師、薬剤師、看護師、保健師で情報交換。保健師より避難所内に一人で行動している医師を名乗る不審者ありと報告があった。

9時00分 診療開始。出だし1時間は途切れなく受診者あり。おもに慢性疾患患者である。昨日鎮咳剤が一部不足しそうになったこともあり、朝一で在庫調査を行う。ほとんどの薬効で分量在庫があるが思いがけない薬効群が不足していることがあるため注意が必要と思われる。今回はMS温シップ、モーラステープ、アスベリンを補充要請することとした。

9時30分 薬剤師は本日も青森チーム2名、長野チーム1名の計3名のため処方せん業務が一段落したのを見計らい、大槌高校避難所内視察を実施。避難所本部で担当者の一人、三浦さんから話を聞くことができた。避難所本部スタッフは役場OBをリーダーに運営されているが本日はGWのため三浦さんが代理で担当しているとのこと。現在避難所では245名が生活しており、食事は避難所在住者に調理師が数名おり、交代で全避難者分を作っているとのこと。今まで1日も休みなく調理してもらっていたので、GW中は弁当を調達して、やっと休んで

もらっているとのことだった。本部の主な仕事は避難所内のよろず相談と1日1回の行政連絡で、大槌高校内で活動している、救護所チーム、保健師チームとの連携は特にないとのことだった。ちなみに話をしてくれた三浦さんも被災により失職中でやむなく今の仕事をなんとなく手伝っている状況とのことだった。

その後、保健師チームに取材。大槌高校には愛知県保健師チームが入っており、リーダー1名が常駐し、残りの5名が2名と3名のチームに分かれ、体育館内巡回指導と安渡地区巡回でラジオ体操、血圧測定及び健康相談を実施しているとのこと。話の中で、巡回指導中に水虫の内服治療に関する相談をされたので薬の相談をお願いしたいとリクエストがあり、是非、薬の相談は救護所の薬剤師へ気軽に相談するよう伝えてもらった。

12時00分 午前診療終了。終了間際に小児患者の受診があり、終了時間が遅くなった。昼食は青森チーム合同でパスタランチ。本日午前でボランティア参加の八木医師夫妻が診療終了。

1時00分 午後診療開始。午後は西村薬剤師、工藤課長に大槌町内の薬局視察をお願いし、原田と長野チームの小林薬剤師で調剤を担当。本日は大槌高校体育館で専大北上高校マーチングバンド慰問コンサートと高校生の昼食差し入れがあったこともあり、患者さんは2時すぎまでゼロ。大城医師の提案によりスタッフ交代でコンサートに行く。非常にクオリティの高い演奏とマーチングで、観客は7-80名と盛況であった。被災した人々を勇気づけようという高校生の熱い思いに本当に感動した。コンサート中に診療所から電話があり、調剤ありとのことで急ぎ診療所に戻り、調剤と服薬指導。

4時30分 診療終了。本日は大城医師、西村薬剤師、小林薬剤師(長野)、工藤課長4名が釜石の災害対策本部カンファレンスに出席。私は当直医師サポート。

6時00分 夕食。メニューはレトルトカレー。大城チーム、沖津医師と。

7時00分 腹痛患者あり。処方せん調剤あり。

氏名;西村宜朗(薬剤師)

体調;良好

行動日誌

6時30分起床、朝は大城チームとの食事。パンとスパム、サラダ。食後にミーティングと近隣の散策。今日は少し時間があつたため遠くまでの観察。ボランティアの八木医師とともに被災状況の観察。

8時45分より診療所ミーティング。9時より受診開始。午前は調剤業務。慢性疾患の定時処方のリクエストが多い。近いからここを利用する患者も増えてきている現状と連休明けの地元診療開始医院の情報もあり、地域復興に向けて投薬時の案内を考える必要もありそうだ。患者向けの案内を作成し午前は終了。

昼は工藤課長が事前よりパスタの作成をしてくれて、JMAT 合わせてみんな揃っての食事。

午後は長期処方を請け負ってもらっている「つくし薬局」の視察。薬局も仮の状況でどうにか請け負っている状況。どの程度までが負担にならないか、私たちからの受付に必要な部分など確認し連絡先の交換。仮の薬局ではあるがレセコン、分包機、人員には問題がないようだ。

つくし薬局の近隣の状況観察。今までみたところと比べ物にならない津波と火災のダブルの被害を見る。被災状況にはここまでということがない。屋根に船が当たり前のように乗っている。魚屋のおやじさんは海岸沿いで「(海より)この辺の土地のほうが低くなったんだと」。その通りである。いつまでも水が引けない。

戻った後、すぐに会議へ出席。本日は特に問題がないことを確認。

数十か所で活動している日赤チームは、ある1か所は撤退するようだ。

帰宅後カレーライスの夕食と長野チームとの談話。各地の情報交換をして就寝となる。

氏名;工藤源造(総務担当)

体調;良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 朝食

7:30 ミーティング

8:45 診療所ミーティング

9:00 診療開始

9:30 大槌町内開設診療所調査

11:30 大槻高校帰着

12:00 昼食

13:30 西村薬剤師同行で大槌町内現状調査

16:00 帰着

16:45 釜石災害対策本部ミーティング

18:00 帰着、業務終了

本日、大槌町内で6日から診察を再開する民間の診療所の状況確認に行きました、診療所も津波により流されプレハブでの再開になっていました。

まだ、診察ができる状態になっていない診療所もあり、復興には時間がかかりそうです。